



### 3 学習についてのアドバイス

学 校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。</li> <li>・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら聞きましょう。</li> <li>・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、様々な資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。</li> <li>・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。</li> </ul>
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。</li> <li>・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。</li> <li>・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。</li> </ul>

### 4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	(歴) 明治維新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。</li> <li>・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。</li> <li>・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。</li> <li>・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。</li> <li>・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。</li> <li>・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。</li> <li>・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から土族の反乱が起きた過程を理解する。</li> <li>・議会政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。</li> </ul>
5	(歴) 【二度の世界大戦と日本】 (歴) 第一次世界大戦と日本 (歴) 世界恐慌と日本の中国侵略 (歴) 第二次世界大戦と日本 (歴) まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解する。</li> <li>・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につける。</li> <li>・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。</li> <li>・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取る。</li> <li>・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。</li> <li>・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べる。</li> <li>・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付ける。</li> <li>・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとする。</li> </ul>

6	<p>(歴) 【現代の日本と世界】</p> <p>(歴) 戦後日本の発展と国際社会</p> <p>(歴) 新たな時代の日本と世界</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解する。</li> <li>・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解する。</li> <li>・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察する。</li> <li>・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組む。</li> </ul>
7	<p>㊦ 【私たちと現代社会】</p> <p>(公) 私たちが生きる現代社会の特色</p> <p>(公) 現代社会の文化と私たち</p> <p>(公) 現代社会の見方・考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解する。・現代社会における文化の意義や影響について理解する。</li> <li>・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> <li>・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</li> </ul>
9	<p>㊦ 【私たちの生活と政治】</p> <p>個人の尊重と日本国憲法</p> <p>(公) 法に基づく政治と日本国憲法</p> <p>(公) 日本国憲法と基本的人権</p> <p>(公) 日本の平和主義</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。</li> <li>・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。</li> <li>・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。</li> <li>・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</li> </ul>

10	<p>㊦【私たちの生活と政治】 国民主権と日本の政治</p> <p>(公) 民主政治と政治参加 (公) 国の政治のしくみ (公) くらしを支える地方自治</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。</li> <li>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。</li> <li>・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。</li> <li>・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> <li>・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</li> </ul>
11	<p>㊦【私たちの生活と経済】</p> <p>(公) 経済のしくみと消費生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。</li> <li>・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。</li> </ul>
12	<p>(公) 生産の場としての企業 (公) 金融のしくみとお金の大切さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。</li> </ul>
1	<p>(公) 財政と国民の福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現する。</li> <li>・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</li> </ul>
2  3	<p>㊦【私たちと国際社会】</p> <p>(公) 国家と国際社会 (公) 国際社会の課題と私たちの取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。</li> <li>・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。</li> <li>・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> <li>・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。</li> </ul>